STROKE LAB / CLINICAL NOTE

EMC｜評価条件と結果

正規用紙で回答・採点した後に転記します。本人と他者の回答を分け、
誰が・いつの・どの生活を評価したかを残します。

対象者ID：_____　年齢：_____歳　評価日：_____年____月____日

対象期間：_____年____月____日 ～ _____年____月____日

生活環境：_____　期間中の入退院・生活変化：_____

本人の回答方法：自記 ／ 読み上げ ／ その他（_____）

他者回答者・続柄：_____　接触頻度・観察期間：_____

正規用紙の項目番号	本人 0～3	他者 0～3	差・観察不足などのメモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

本人合計：____ / 39　　他者合計：____ / 39　　差（他者－本人）：____

未回答・観察不足：_____ 総点：算出可 ／ 算出保留
不明項目を自動で0点にしない。本人と他者の合計・平均を新しい総点にしない。

次に確認する生活場面・項目番号

_____

STROKE LAB / CLINICAL NOTE

EMC｜出来事から支援へ

回答が高い項目、本人と他者で違う項目から、生活への影響が大きい場面を選びます。
抽象的な「物忘れ」ではなく、具体的な出来事を記録します。

対象者ID：_____　記録日：_____　記録者：_____

1｜本人・家族が話した出来事（いつ／どこで／何をしようとしたか）

2｜失敗の内容と影響（忘れた情報／中断／実行の遅れ／困ったこと）

3｜活動の機会と現在の援助（何回中何回／誰が何を代行したか）

4｜今回試す工夫（道具／置く場所／合図／本人がする動作）

5｜測る指標と確認日（自力の回数・必要な声かけ・探す時間など）

面接の言葉の例
「最近の具体的な場面を一つ教えてください」
「その用事は、何回くらいありましたか」
「ご家族が先に準備したことはありますか」
「どんな助けがあると、ご自身でできましたか」

STROKE LAB / CLINICAL NOTE

EMC｜生活記録と再評価

日々の記録は生活行動の変化を確認するための独自様式です。EMCの追加項目や
配点ではありません。支援を始めた日と、再評価の対象期間をそろえて読みます。

対象者ID：_____　今回の生活目標：_____

支援開始日：_____　EMC再評価予定：_____

日付・用事	実施機会数	自力で完了	必要な援助・困りごと

自力の定義：_____
「自力で完了」には、家族が先に代行した機会を含めない。見守り・声かけ・実介助を分ける。

比較	前回	今回
本人EMC（/39）		
他者EMC（/39）		
回答者・環境の変更		

読み方 点数の増減だけで改善・悪化と決めず、活動量、気づき、家族の代行、
生活目標の達成を確認します。共通の最小重要変化量は本票では設定しません。

根拠・正規用紙の案内（クリックして開く）

日本版検証：数井ら，2003
質問紙・期間：羽生ら，2007
正規用紙：千葉テストセンター